



# トカプチの風



## 北海道 CLASS プロジェクト地学協働活動推進フォーラム

北海道教育委員会では学校教育・社会教育の両面から、全道における地学協働活動の推進を図ることを目的として、本フォーラムを実施しました。事例発表では北海道CLASSプロジェクト研究指定校である北海道帯広三条高等学校から、高等学校で取り組む地学協働活動の発表がありました。本通信では北海道帯広三条高等学校とプロジェクト連携校である北海道本別高等学校の取組を紹介します。

### 高等学校における地域と学校が連携・協働した取組

取組の視点	北海道帯広三条高等学校（研究指定校）	北海道本別高等学校（連携校）
取組の概要 	地域と連携・協働した探究的な学びを推進し主体的に学ぶ力を身に付け、主体的な進路選択と進路実現ができる生徒の育成を目指しています。1、2年次の総合的な探究の時間、3年次の選択科目等で学習を展開しています。コーディネーターが学校と地域をつなぐ役割を担っています。	総合的な探究の時間（とち創生学）において、地域との協働による探究活動をとおして、地域に愛着と誇りをもってふるさとの発展に貢献していく意欲を高め、地域の未来を創造していく生徒の育成を目指しています。コーディネーターが学校と地域をつなぐ役割を担っています。
実際の取組 	1年次の総合的な探究の時間では、地域課題をテーマとして15のゼミを開講し、探究活動に取り組みました。28団体、48名（令和4年12月末現在）の地域人材が授業に参画し、生徒とともに活動しました。十勝の食と農業をテーマにしたゼミでは、その魅力を発信するために十勝の農業を応援する歌を制作することを検討し、シンガーソングライター等の地域人材と協働して歌詞及びミュージックビデオを制作しました。	1年生は、本別町の魅力を理解し、その魅力を発信する動画やポスターづくりに取り組みました。地域の自然、歴史、文化、経済、行政などに精通した地域人材が授業に参画し、生徒の探究活動に対して助言をしました。2年生は、①地域の特性を活かした特産品の開発、②地域で抱える課題に対する解決策の提案、③魅力ある地域づくりの提案に向けて取り組みました。地域人材が探究コーチとして参画し、生徒とともに議論し、解決策を検討しました。

○北海道帯広三条高等学校の生徒と授業に参画した地域人材の声

【障がい者への理解をテーマにした生徒】

将来、看護系の進路を希望しています。このゼミでの学習で終わるのではなく、将来について自ら調べていきたいです。

【探究に関わった地域人材】

生徒には、「こんなことをやったら地域の役に立つのでは」と思ったときに、挑戦していく勇気をもってほしいです。



両校における生徒の探究活動は、コーディネーターによる支援や企業等の協力を得て、教育課程外においても展開されています。地域と学校の連携・協働した取組が、生徒の学びの充実につながっています。